

## 会議録 要旨

(1) 会議の名称	令和元年度 第2回 鯖江市空家等対策協議会
(2) 開催日時	令和元年12月23日(月) 午前10時00分～午前11時00分
(3) 開催場所	鯖江市役所 4階会議室
(4) 出席委員氏名	野々村善民会長、佐藤孝一副会長、牧野百男委員（代理：中村副市長）、水津達夫委員、武藤英樹委員、青木嘉子委員、平池美廣委員、奥田聖次委員、榊原広輝委員、熊田富士子委員、湧口節子委員、根本楓委員
(5) 欠席委員氏名	小嶋重治委員
(6) 出席所管課職員氏名	藤田裕之 総務部長、長谷川伸英 都市整備部長、斎藤正史 防災危機管理課長、三原雅敏 建築営繕課長、今川泰夫 参事、横井直人 主査、川崎千寛 主査
(7) 会議議題	鯖江市空家等対策計画（案）
(8) 会議資料の名称	・空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針【概要】 ・鯖江市空家等対策計画（案）
(9) 会議の内容の要旨	鯖江市空家等対策計画（案）について説明
(10) 主な協議内容	<p>計画の中に「危険度の高い空き家」について記載があるが、全体の空き家数の把握状況はどうか。</p> <p>→平成27年度に「空き家実態調査」を行い、毎年区長協力のもと更新を行っている。今年度の補正予算にて「空き家実態調査」を予定しており、次年度からの起点になる空き家数として、空き家対策を実施していきたい。</p> <p>計画の中に「危険度の高い空き家」を計画期間の5年の間で減少させるとのことであるが、最終的にはどのような目標なのか。</p> <p>→高齢化等の問題により空き家数を減らすことは難しいが、空き家になる前の抑制を行い、対応していきたい。</p> <p>空き家問題の解決に向けては長期間にわたることが多くなるが、相談後のアフターフォローはどう考えているのか。</p> <p>→空家所有者への定期的な通知（啓発）を行い、協定団体と連携しながら、アフターフォローもしていきたい。</p>

現在、防災危機管理課、建築営繕課と2つの課にまたがって空き家対応を行っているが、相談者としてはわかりにくいのではないかと。

→現在は関係各課による庁内会議等を行い、連携しているが、今後は一括化できるような仕組みを検討していきたい。

売買、リフォームの交渉等のマッチングについて、市としてはどうかかわっていくのか。

→売買・賃貸については、空き家情報バンク制度を活用してもらい、リフォームについては事業者の方が事業用に空き家をリフォームする場合に出す補助制度を利用してもらいたいと考えている。